

# 令和 7 年度における J グランツ機能拡充の主なポイントについて

令和7年8月4日 デジタル庁

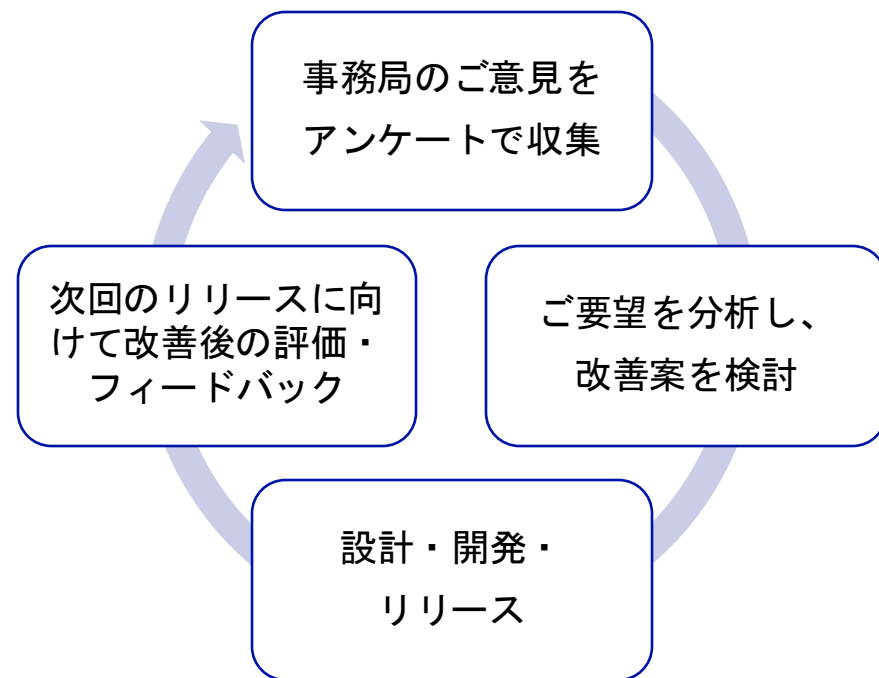
事務局及び事業者の利便性向上のためのUI/UX改善リリースのサイクルについて

## 事務局の皆さまからいただいたご意見をもとにJグランツの改善を進めています

Jグランツでは、事務局からのご意見をアンケート等で収集・分析し、UI改善につなげています。令和7年度も定期的な機能改善を予定しており、継続的な改善サイクルのもと、利便性の向上を図ってまいります。

なお、6月・7月に実施した改善内容の詳細について、ご利用事務局の皆さまにご案内を予定しておりますので、ご確認をお願いいたします。

### ▼改善に向けたリリースのサイクル



### ▼6・7月に実施したUI/UX改善の一部をご紹介します

※このほかにも複数の改善をリリースしております。

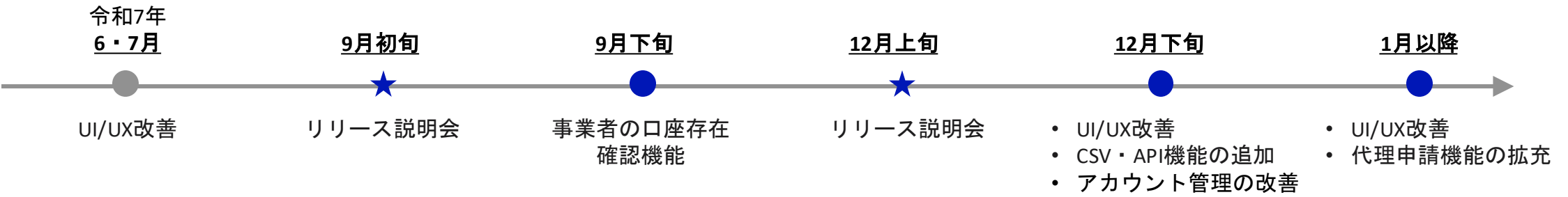
- ① 申請フォームの入力項目に「数値(カンマ区切り)」の入力タイプを新たに追加。

- ② 審査時に送信される審査結果通知メールの件名に「公募申請」「交付申請」などの申請フロー名を追加。どの申請に関する通知か一目で分かるように改善。

例) 補助金申請が差戻しされました (A事業: 令和7年度電子化補助金-**交付申請**)

令和7年度に予定している主な機能リリースと説明会のご案内

事務局及び事業者の利便性向上に向けて新機能のリリースを順次実施予定



| 主な対象           | 要件名                     |                                                                                               |
|----------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 共通<br>(全利用者向け) | 口座存在確認機能                | 補助金の振込口座は、事務局による通帳のコピーとの目検突合作業が必要だったが、統合 ATMスイッチングサービス 利用者組織さまのご協力により、口座の存在をシステム上で確認できる機能を追加。 |
|                | UI/UX改善                 | デザインや操作性に関し、いただいた多くのご要望に対応予定。                                                                 |
| 審査者・<br>事務局管理者 | フォーム作成・<br>ログインに関する機能追加 | 組織内で複数職員が申請フォームを作成する場合、フォームの共有が可能になり、補助金の立ち上げがよりスムーズに。また、追加の認証にSMS以外の認証方法を導入する。               |
|                | CSV・API機能の追加            | 数百名体制で審査を分業している補助金事務局も存在することから、事務局の内部システムと連携を可能にするため、CSV出力機能とクローズドなAPIを追加する。                  |
| 事業者            | 代理申請機能の拡充               | 行政書士などの代理申請者と事業者の間で、委任の範囲をより細かく設定できる機能を追加する。                                                  |

リリースについて一部ご紹介（令和7年9月下旬予定）

## 「グランツ」に登録された口座の存在が自動確認されるようになります！

本機能を利用することで、キャッシュカードや通帳のコピーを用い、口座名義や口座番号等に誤りがないかを確認する業務が基本的に不要となります。

### これまで

- 事業者は「グランツ」に口座情報を入力しキャッシュカードまたは通帳のコピーを添付。
- 審査事務局は口座情報を目視で突合。



口座番号が違う

あと30件...

### これから

キャッシュカード/通帳のコピーとの突合が省略！



「グランツ」に入力された口座の存在をシステムが確認！

|              |              |
|--------------|--------------|
| 振込先金融機関（コード） | みかん銀行（0005）  |
| 支店名（コード）     | 熊本支店（111）    |
| 口座番号         | 12345679     |
| 口座名義         | 椿秋子（ツバキ アキコ） |

リリースについて一部ご紹介（令和7年12月以降予定）

## 審査業務をより円滑に実施できる機能をリリース予定です！

補助金審査に関するシステムにおいて、以下の3点を中心に改善を実施予定です。

### ①メールによる追加認証の実現

- 特に自治体職員の方々から、携帯電話へのSMSでの追加認証を行うのが困難であるご意見をいただいております。メールによる認証方式を導入します。

### ②組織内での申請フォーム共有がしやすく

- 以前より、「組織内に申請フォームを構築する職員が複数いる場合、それぞれが作成したフォームを共有することができず、不便である」の声をいただいております。今般、これを可能にし、より効率よく補助金の立ち上げ作業を行っていただけるようになります。

### ③差戻コメントの項目単位での入力が可能に

- これまでは、差戻し時に申請フォームの末尾に修正依頼事項がまとめて表示する形式でしたが、今後は、申請フォームの中で各申請項目ごとに個別のコメントを入力できるようになります。

#### ▼③対応後の差戻し後の申請画面イメージ

公募申請

支出経費の明細等

補助対象経費(合計)

補助金交付申請額(合計)

見積書

(審査者からのコメント)  
合計額が合いません。  
修正して再申請してください。

#### 【改善ポイント】

- コメントが入力された項目のみが自動で**ハイライト表示**
- カーソルを合わせると、コメントが**ポップアップ表示**
- 申請者は修正が必要な箇所を**一目で把握**でき、対応がスムーズに！

新機能リリースに伴う事務局向け説明会のご案内

## 新機能リリースに関するオンライン説明会を開催します！(9・12月開催予定)

補助金事務局の運用に関わる機能のリリースに伴い、オンラインでの説明会の開催予定※です。説明会では、想定される運用上の変更点や新機能の活用方法についてご案内いたします。各省庁のPMOの皆さまにおかれましては、Jグランツをご利用中の補助金担当原課にも、説明会へのご参加を呼び掛けていただけますと幸いです。

また現在、補助金申請電子化に関するアンケートも実施しております。こちらも同様に、上記の連絡手段にてご案内しておりますので、ご協力をお願いいたします。

※日時や開催方法の詳細は、決まり次第メールおよび共創プラットフォーム（Slack）にてご案内いたします。

▼共創プラットフォーム（Slack）では、Jグランツの最新情報として、説明会やリリースに関するお知らせを配信しております。ぜひこの機会にご参加ください！

📌 7月の補助金電子化セミナー開催お知らせ／  
参加申込はこちらのURLから

今月開催したセミナーでは、各回50名以上の方にご参加いただき、活発な質疑応答も行われました。ご参加くださった皆さま、ありがとうございました！

7月も 2回開催します！  
Jグランツの導入を検討中の方はもちろん、「名前だけ聞いたことある」という方も大歓迎です！

セミナーでは、

- ✓ 電子化によってどんなメリットがあるの？
- ✓ 導入までに何から始めればいいのか？
- ✓ セットアップって難しい？

といったポイントを、\*デモ画面を使って分かりやすくご説明\*します。また、\*その場でデモ環境にログインして、実際に操作を体験\*していただけます！  
「とりあえず触ってみたい」という方もお気軽にどうぞ👉

📅 \*開催日時\*（※どの回も同一の内容です）

- 7/8(火) 10:30～11:30
- 7/24(木) 16:00～17:00

参加申込はこちらのURLから

共創PF登録の詳細は  
こちらから！

共創  
PLATFORM



[https://www.digital.go.jp/  
get-involved/co-creation-  
platform](https://www.digital.go.jp/get-involved/co-creation-platform)

## GビズIDのオンライン発行についてご案内

申請者がJグランツを利用する際に必要となるGビズIDは、個人事業主は令和5年8月から、法人は令和6年3月から、マイナンバーカードを用いて最短即日での取得が可能となっております。

公募要領等にGビズIDの取得方法を記載される場合には、オンラインでの申請も可能である旨を併記いただきますようお願いいたします。

オンライン申請、これひとつ  
**GビズIDで、効率化!**

POINT 1 切手代や移動時間など見えにくいコストを削減

POINT 2 わずらわしいID管理から開放されます

POINT 3 オンラインだから夜間や休日でも申請できます

※ID発行時に代表者の身元確認を行えばその後の各手続での本人確認書類提出は不要です

**GビズIDは、こんなことに使えます**

代表的な行政サービス例

- 日本年金機構 (Japan Pension Service) (社会保険手続きの電子申請)
- e-GOV
- jGrants
- 石綿事前調査結果報告システム
- 一元的な輸出証明書発給システム
- 建設業許可・経営事項審査電子申請システム

幅広い行政サービスに対応。今後も拡大予定です

補助金の申請や検索もGビズIDで

- IT導入補助金 (ソフトウェア購入費/クラウド利用料など)
- ものづくり補助金 (機械・システム構築費/海外展開に必要な広告宣伝費など)
- 小規模事業者持続化補助金 (展示会への出展/店舗の改装など)

アカウント作成について

まずは **プライムアカウント**がおすすめ  
プライムを作成すれば、アカウントを増やせます

事業主(プライム) → 従業員(メンバー)

|             | アカウント種別 | 利用可能な行政サービス | アカウントの作成方法                 |
|-------------|---------|-------------|----------------------------|
| 法人代表者・個人事業主 | プライム    | すべて         | 審査を行って作成<br>※時間がかかる場合があります |
| 従業員         | メンバー    | 制限あり(小)     | プライムによる作成                  |
| 誰でも         | エントリー   | 制限あり(大)     | 審査を行わず作成                   |

半数以上の方がオンライン申請を利用しています

マイナンバーカードがあれば、最短で即日発行。書類郵送での作成も可能です。

※一般消費者へのGビズID利用に関するアンケートより、法人プライムアカウントの場合。(2024年8月実施)

オンライン申請を行った方の **78.8%**に「簡単だった」とお答えいただいています

情報セキュリティへの取り組み  
大切な情報を守るために二要素認証でのログインを実施しています

GビズIDでは、安心してログインしていただくため「2要素認証」という仕組みを取り入れています。これは「ID・パスワード」と「設定済みのアプリでの認証操作」という異なる認証方法を組み合わせてログインできる方法です。2要素認証を行うことで、セキュリティを強化。ご登録いただいた個人情報は、プライバシーポリシーに沿って適切に管理しています。※ご利用時にスマートフォン等に認証アプリのインストールが必要です